

R7 広域交通アンケート調査結果（企業）

1 調査概要

【対象】大分県内で事業活動を行う企業

【期間】令和7年10月～12月

【方法】商工観光労働部が実施した秋の500社訪問等で依頼し、オンライン等で回答

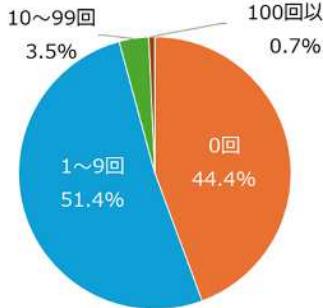
【設問】16問（東九州新幹線や豊予海峡ルート構想の認知等）
【回答】142社

2 広域交通の利用状況

◆交通手段として、関西地方へはJR(72.2%)、四国地方へはフェリー(85.0%)を利用する方が多い

◆新幹線利用時の主な訪問エリアは、関西(82.3%)が多く、中国(31.6%)、九州(30.4%)が続く

Q1 関西地方（大阪等）に年間どのくらい行きますか。



Q3 四国地方に年間どのくらい行きますか。

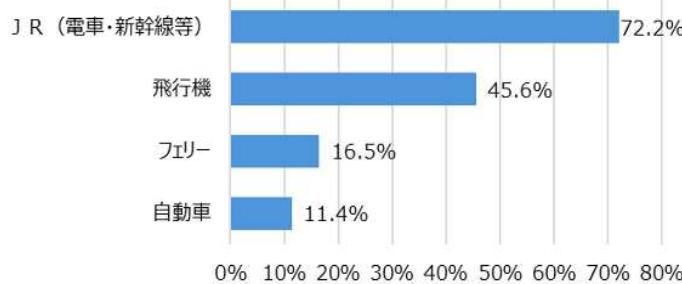


Q5 出張で年間どのくらい新幹線を利用しますか。



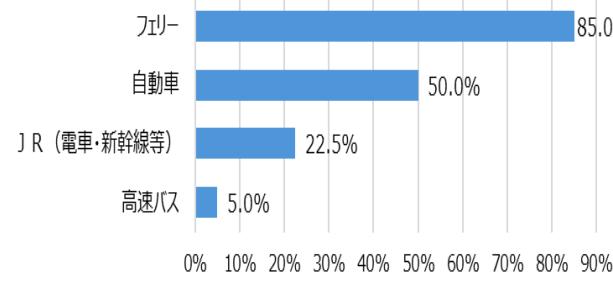
Q2 関西地方（大阪等）への主な交通手段

※Q1で1回以上を選択した企業



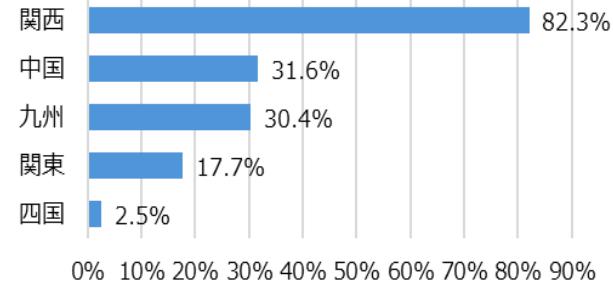
Q4 四国地方への主な交通手段

※Q3で1回以上を選択した方



Q6 新幹線利用時の主な訪問エリア

※Q5で「利用する」を選択した方



R7広域交通アンケート調査結果（企業）

3 東九州新幹線・豊予海峡ルート等の認知度

- ◆8割(80%)が、新幹線整備の基本計画を定めていることを認知
- ◆大分県を通る3本の基本計画路線のうち、「東九州新幹線」の認知度は9割(90.8%)と最も高い
- ◆豊予海峡ルートについては、約8割(78.9%)が認知
- ◆広域交通ネットワークの整備効果の認知度は、東九州新幹線が68.3%、豊予海峡ルートが62%

Q7 国が新幹線整備の基本計画を定めているのを聞いたことがある。



Q8 新幹線計画の1つに「東九州新幹線」が入っているのを聞いたことがある。



Q9 新幹線計画の1つに「四国新幹線」が入っているのを聞いたことがある。



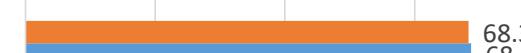
Q10 新幹線計画の1つに「九州横断新幹線」が入っているのを聞いたことがある。



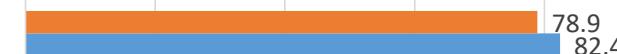
Q11 「リニア中央新幹線」の工事が始まっているのを聞いたことがある。



Q12 「東九州新幹線」が開通すれば、大分-博多間が約50分(1時間10分短縮)、大分-大阪間が約2時間30分(1時間30分短縮)と大幅な時間短縮になることを聞いたことがある。



Q13 「豊予海峡ルート構想(道路及び新幹線)」を聞いたことがある。



Q14 豊予海峡ルートに道路が整備されたら、大分-大阪間の走行距離が180km短縮され、自動車で6時間(2時間短縮)で移動できることを聞いたことがある。

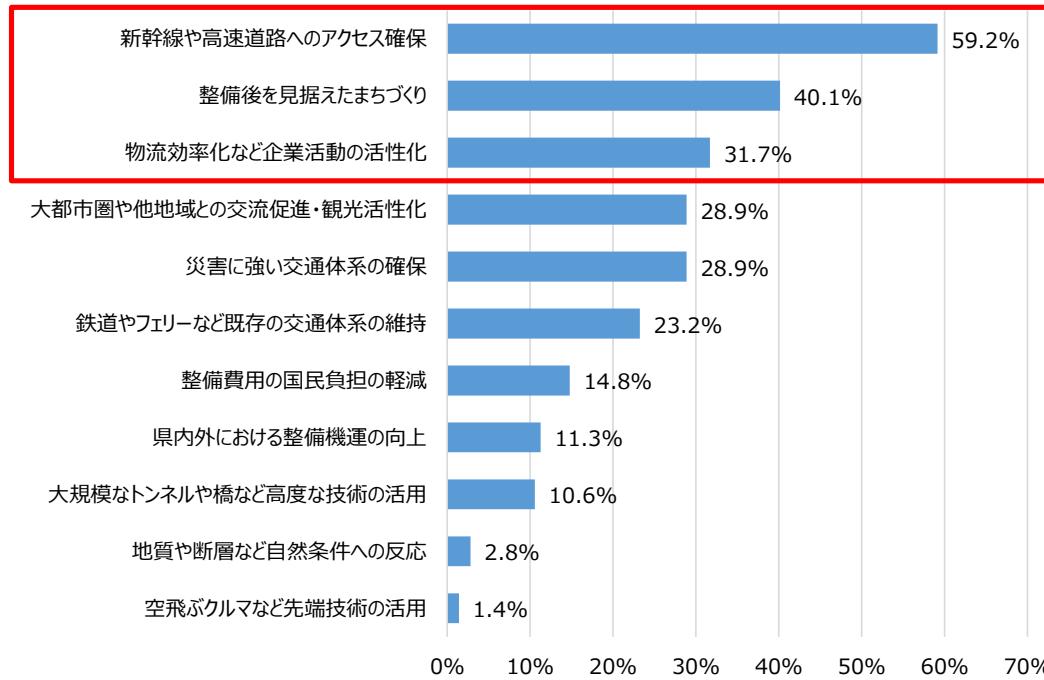


4 重要な要素や今後への期待

- ◆整備を考える際に特に重要な要素は、「新幹線や高速道路へのアクセス確保(59.2%)」が多く、「整備を見据えたまちづくり(40.1%)」や「物流効率化など企業活動の活性化(31.7%)」が続く
- ◆9割(90.8%)の方が、東九州新幹線や豊予海峡ルートなどの整備に期待(R6:67.9%)

Q15 東九州新幹線や豊予海峡ルート(道路・新幹線)などの整備を考える際に、特に重要な要素だと思うものは何か。

※複数選択、最大3つまで



Q16 人口減少対策を進める中、地域発展及び将来世代のための取組として、東九州新幹線や豊予海峡ルートなどの整備に期待しますか。

(参考)R6
・新幹線等のアクセス確保 61.1%
・整備を見据えたまちづくり 32.1%
・災害に強い交通体系 30.5%

